

## 復活節第5主日特祷

全能の神よ、あなたをまことに知ることは、永遠の命にいたる道です。どうかわたしたちが、み子イエス・キリストは道であり、真理であり、命であることを深く知ってみ跡に従い、永遠の命に至る道を絶えず進むことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

## 旧約聖書 申命記4章32節—40節

4:32 あなたに先立つはるか昔、神が地上に人間を創造された最初の時代に遡り、天の果てから果てまで巡って、尋ねてみるがよい。これほど大いなることが起こったであろうか。そのようなことを聞いただろうか。33 火の中から語られる神の声を聞き、なお生きているあなたのような民があったであろうか。34 あるいは、あなたがたの神、主がエジプトで、あなたの目の前でなされたように、さまざまな試み、しるしや奇跡を行い、戦い、力強い手と伸ばした腕、大いなる恐るべき業を示し、諸国民の中から一つの国民をご自身で選び出された神があったであろうか。35 あなたは、主こそ神であって、この方をおいてほかに神はいないということを示され、知るに至った。36 主は、あなたを訓練するために天から御声を聞かせ、地上では大いなる火を見せ、また、あなたは御言葉を火の中から聞いた。37 主は、あなたの先祖を愛されたので、その後続く子孫を選び、ご自身が大いなる力によって、エジプトからあなたを導き出された。38 主は、あなたより大きく、強い諸国民をあなたの前から追い払い、彼らの地に導き入れ、これを今日のように相続地として与えてくださった。39 そこで今日あなたがたは、上は天においても下は地においても、主こそ神であり、ほかに神はいないことを知って、心に留めておきなさい。40 だから今日私が命じる主の掟と戒めを守りなさい。そうすればあなたもあなたの後続く子孫も幸せになり、あなたの神、主が生涯にわたってあなたに与える土地で長く生きることができる。

## 日課詩篇 第66編1節—8節

- 1 全地よ、神に向かって喜びの声を上げよ // み名の栄えをほめ歌い、その栄光を賛美せよ
- 2 神に向かって言え、あなたのみ業は恐るべきもの // 敵も偉大なみ力にひざをかがめる
- 3 全地はあなたを伏し拝み // み名をたたえて喜び歌う
- 4 来て、神のみ業を仰ぎ見よ // 人びとに行われた恐るべきみ業を
- 5 神は海を陸に変え、人は川の中を歩いて渡った // 彼らは神のみ業を感謝して喜んだ
- 6 神は力を現してとこしえに治め // 諸国に目を注ぎ、逆らう者を高ぶらせない
- 7 すべての民よ、わたしたちの神をたたえ // 賛美の声を響かせよ
- 8 神はわたしたちに命を与え // 足を揺るぎなく支えられる

## 使徒書 使徒言行録8章26節－40節

8:26 さて、主の天使はフィリポに、「ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザに下る道を行け」と言った。そこは寂しい道である。27 フィリポは出かけて行った。折から、エチオピアの女王カンダケの高官で、女王の全財産の管理をしていたエチオピア人の宦官が、エルサレムに礼拝に来て、28 帰る途中であった。彼は、馬車に乗って預言者イザヤの書を朗読していた。29 すると、霊がフィリポに、「追いかけて、あの馬車に寄り添って行け」と言った。30 フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。31 宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と言い、馬車に乗って一緒に座るように、フィリポに頼んだ。32 彼が朗読していた聖書の箇所はこれである。「彼は、屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている小羊のように、口を開かない。33 卑しめられて、その裁きも行われなかった。誰が、その子孫について語れるだろう。彼の命は地上から取り去られるからだ。」34 宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、誰についてこう言っているのですか。自分についてですか。誰かほかの人についてですか。」35 そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの箇所から説き起こして、イエスについて福音を告げ知らせた。36 道を進んで行くうちに、水のある所に来たので、宦官は言った。「ここに水があります。洗礼(バプテスマ)を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」38 そして、車を止めさせた。フィリポと宦官は二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼(バプテスマ)を授けた。39 彼らが水の中から上がると、主の霊がフィリポを連れ去った。宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びに溢れて旅を続けた。40 フィリポはアゾトに姿を現した。そして、すべての町を巡りながら福音を告げ知らせ、カイサリアまで行った。

## 福音書 ヨハネによる福音書14章15節－21節

14:15 「あなたがたが私を愛しているならば、私の戒めを守るはずである。16 私は父にお願いしよう。父はもうひとりの弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてください。17 この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、それを受けることができない。しかし、あなたがたは、この霊を知っている。この霊があなたがたのもとにおり、これからも、あなたがたの内にいるからである。18 私は、あなたがたをみなしごにはしておかない。あなたがたのところに戻って来る。19 しばらくすると、世はもう私を見なくなるが、あなたがたは私を見る。私が生きているので、あなたがたも生きることになる。20 かの日には、私が父の内におり、あなたがたが私の内におり、私があなたがたの内にいることが、あなたがたに分かる。21 私の戒めを受け入れ、それを守る人は、私を愛する者である。私を愛する人は、私の父に愛される。私もその人を愛して、その人に私自身を現す。」